

市民参加の消防出初め式



晴天の1月10日(日)午前10時から荻野運動公園で、厚木市消防出初め式が開催され、消防団活動で功績のあった個人、団・分団が表彰されました。

開会前に市長の観閲がありました。人員報告では消防署部隊67名、消防団350名、大規模災害サポート隊54名、事業所の自衛消防隊7名、計478名が参集。



古式消防隊が随所で活躍。
あゆコロちゃんも参加しました。

昨年、厚木市内では依知北地域の一部に避難勧告が発令されたものの、大きな災害や被害はありませんでした。全国では関東東北豪雨や噴火などがあり、多くの生命や財産が失われました。

厚木市地域防災計画の見直しでは噴火や雪害対策を強化し、帰宅困難者の都市再生安全確保計画も作られます。また、市内11か所の老人憩の家やコンビニ(セブンイレブン)48か所にAEDを設置するなど、救命率の向上を図っています。また消防本部では各イベントへのAEDの貸し出しもしています。

式典中に具合を悪くして倒れた方がいましたが、消防職員の素早い機敏な対応で式典は乱れず進行。日頃の活動の一端を間近に見ることができ、改めて市民の生命を守っている消防の皆さんへの感謝の思いがわいてきました。式典後、かわいい姉弟が前の方に

来て観ていましたが、「お父さんは救急隊」だそうです。

第2部の演技では厚木古式消防保存会のまとい振込やはしご乗り。消防演技は事業所の自衛消防隊や消防団が消火活動を披露しまし

た。

消防署の演技では、署と団に大規模災害サポート隊、市民救命サポート隊、それに宮の里自治会の自主防災隊が加わりました。

大地震により建物が倒壊し、火災発生。消防隊がはしご車、レスキュー車、指揮車、救急車、化学消防車などで現場に急行。乗用車が建物の下敷きに。それぞれの場面での救助活動、さらに赤・黄・緑の色別シートに被害者を振り分けるトリアージ。高い建物からのけが人の搬出、そして救急隊へ脱出命令。来場者からは何度も感嘆の声が上がっていました。



写真右上：車が倒壊した建物の下敷きに。右下：怪我人を救助する市民救命サポート隊。左：屋上からロープを伝って脱出終了。祝60周年の垂れ幕



昨年の火災件数は76件と前年より22件も増えています。

住宅火災では逃げ遅れが大きな被害につながります。皆さん、住宅用火災警報器の設置はお済みですか。

救急車は市内に7台ありますが、間に合わない時は消防車両が対応するため現場に行くこともありますので、火災とお間違えのないように。

地元荻野中学校の吹奏楽部の生演奏が式典に花を添えました。

2月 議会の予定

2月22日(月)	本会議
23日(火)	本会議
29日(月)	本会議(一般質問)
3月1日(火)	本会議(一般質問)
2日(水)	本会議(一般質問)
4日(金)	総務企画常任委員会
7日(月)	市民福祉常任委員会
8日(火)	環境教育常任委員会
9日(水)	都市経済常任委員会
10日(木)	常任委員会予備日
18日(金)	議会運営委・本会議

9時開会です。
ぜひ傍聴においでください。

話題あれこれ

厚木市成人式「はたちのつどい」

今年の成人の日(1月11日)。厚木市では成人式「はたちのつどい」が開かれました。対象の新成人は2364名でうち7割の1636名が出席しました。

実行委員会方式になってから9年目の今年は、**百花繚乱咲き誇れ厚木人**とのタイトルが、ステージに大きく掲げられ、飯山白龍太鼓の演奏で始まりまし

た。

式典では元気な新成人が歩きまわるなどしていましたが、その次のアトラクションの神奈川警察音楽隊とカラーガード隊の演奏に、会場は落ち着いた雰囲気となりました。恒例となった、中学3年生の時の担任によるお祝いビデオレターには掛け声や笑い声などが起きて、和やかな成人式となりました。

社会人、学生、子育て中など、いろいろな状況にある中、こうして成人式に参加し、旧交を温められる人は幸い。それぞれの思いや状況の中で、参加したくても来られなかった新成人に思いを馳せました。



昨年戦争法が成立し、若者の4割が非正規という中で、新成人の皆さんがどんな社会で生きていくことになるのか、どんな社会をつくっていくべきか、心新たにいたしました。

栗山議員の息子も今年成人式でしたが、全く会えないままに残念。